

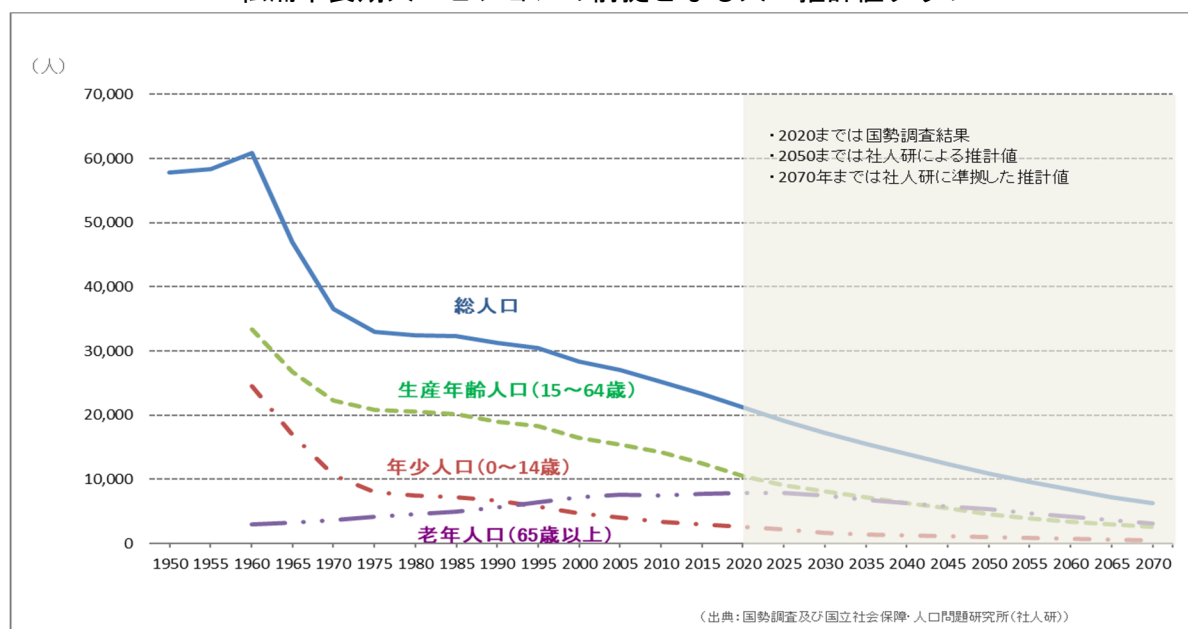
第4章 将来人口の予測

1 本市における人口の動向

本市における人口は、昭和 35（1960）年の約 60,000 人をピークに昭和 50（1975）年までの 15 年間に約 26,000 人が減少する急激な減少期を経て、現在も減り続けており、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の人口推計に準拠した推計によると令和 42（2060）年には、8,354 人になるとされています。

また、本市の長期的な人口推計を展望する「松浦市長期人口ビジョン」では、合計特殊出生率を 2.20 まで引き上げ、令和 22（2040）年までに社会移動における転出超過の解消を図り、令和 22（2040）年の人口を 14,727 人、令和 42（2060）年の人口を 11,408 人と設定し、持続的な発展に向けた対策を講じています。

松浦市長期人口ビジョンの前提となる人口推計値グラフ



出典：松浦市長期人口ビジョン（令和 7（2025）年 3 月）

2 希望出生率について

少子化アンケートでは、20～49 歳既婚女性の「実際に持つことを考えている子ども数」は、第 1 位が「3 人」（45.5%）、第 2 位が「2 人」（42.7%）であり、平均では 2.62 人となっています。20～34 歳未婚女性の「理想の子ども数」は、第 1 位が「2 人」（50.0%）、第 2 位が「3 人」（44.1%）であり、平均では 2.34 人となっています。以上に基づき計算した本市の希望出生率は、2.20 になります。

既婚者割合 ①	夫婦の予定 子ども数 ②	未婚者割合 ③	未婚結婚 希望割合 ④	理想子ども数 ⑤	離別等効果 ⑥	希望出生率 (①×②+③ ×④×⑤)× ⑥	(参考) H25合計特殊 出生率
0.47	2.62	0.53	0.897	2.34	0.938	2.20	1.94

出典：松浦市長期人口ビジョン（令和 7（2025）年 3 月）

3 目標とする将来人口

「松浦市長期人口ビジョン」では、人口減少の原因は自然減少と社会減少にあり、これらを抑制するために、子どもを増やし、若い世代の転出を抑えることが鍵になるとした上で、希望出生率を達成することと、社会移動を均衡させることを要件として将来人口を定めています。

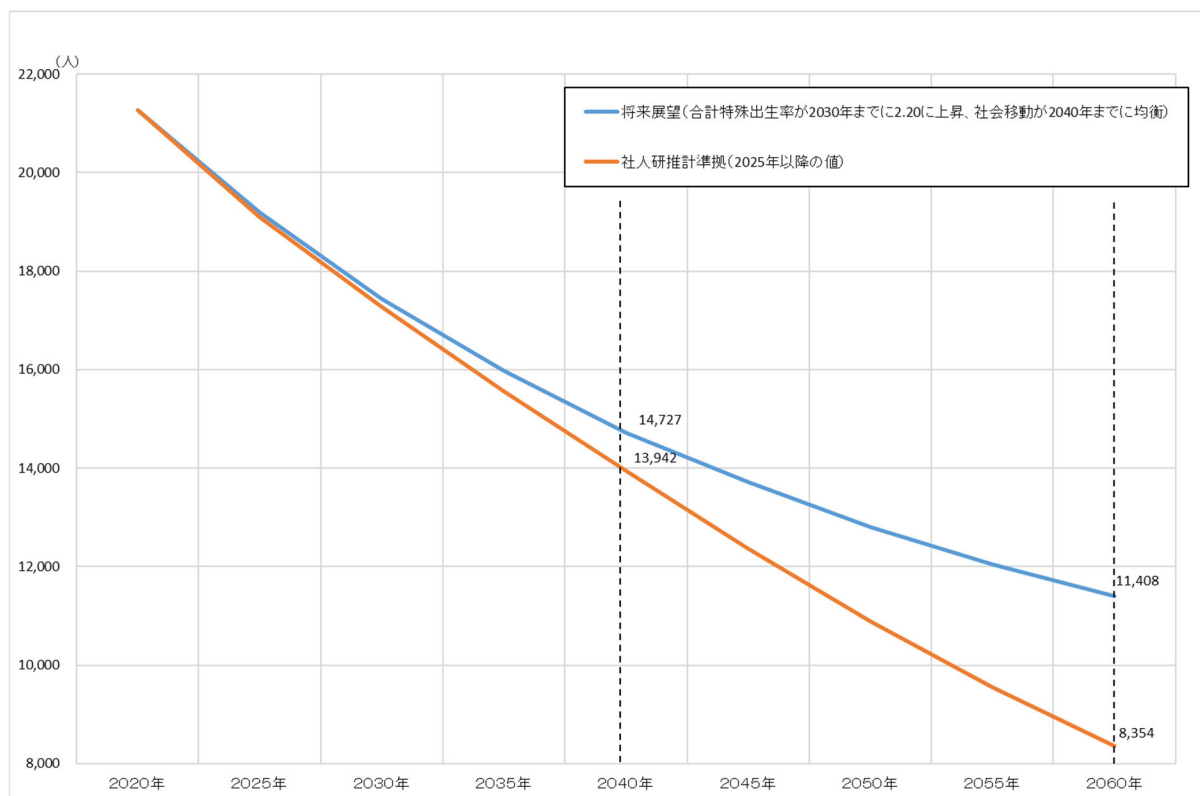
松浦市独自推計ケースごとの人口推移表

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	25,145	23,309	21,271	19,198	17,447	15,976	14,727	13,713	12,808	12,041	11,408
(参考) 人口(内数)	148	82	233	—	—	—	—	—	—	—	—
外国人 割合	0.59%	0.35%	1.10%	—	—	—	—	—	—	—	—

※2010～2020年は国勢調査

出典：松浦市長期人口ビジョン（令和7（2025）年3月）

松浦市独自推計ケースごとの人口推移図



出典：松浦市長期人口ビジョン（令和7（2025）年3月）

■目標とする将来人口

松浦市長期人口ビジョンでは、令和22（2040）年度に15,000人程度確保することを目標としていますが、松浦市都市計画マスタープランにおいては、令和27（2045）年に14,000人程度を確保することを目指します。